

## りんご並木（長野県・飯田市）



りんご並木全景



りんごの手入れ

市街地の7割を消失した大火の復興時に造られた道路の中央分離帯に、昭和28年に中学生がりんご並木を植樹して以来ずっと、土作り、剪定、収穫など全ての管理工程を生徒が行っています。並木の老齢化と車社会の進展もあり、りんご並木は復興のシンボルとして歩車共存のコミュニティ道路として再整備され、翌年の平成12年度に手づくり郷土賞を受賞しました。再整備された後は、多くの地域住民も管理・清掃に参加するなどし、学校と地域を結ぶ協働の場となっています。また、20余の団体が連携する「りんご並木まちづくりネットワーク」が歩行者天国を毎月開催するなどし、市民の交流や憩いの場を形成しています。